

# 授業の動画データを提出して、真実を明らかにせよ！！

勝ち取る会ニュース No.9

2018年9月7日発行



**多くの支援者で、傍聴席を埋めつくす！！**

二〇一八年七月二日（月）、午前一一時東京地裁立川支部第四〇四号法廷において「指導力不足教員」の第九回口頭弁論が行われました。傍聴席があふれる約六〇名の支援者が参加しました。

法廷では、富永弁護士が原告書面の要旨を述べました。その中で、校長が保護者の要求を抑えるため、原告を学校現場から排除したことは問題であること主張しました。また研修と云えない研修センターの実体も述べました。

また、授業の録画データを提出するように求めた文書を提出しました。被告からは関係者二名の陳述書が提出されました。法廷閉廷後、東京三弁護士会多摩支部二階会議室で裁判の報告と支援者の意見交流を行いました。

橋詰弁護士は、「本件の実体は特定の保護者の苦情に苦慮した校長が原告を学校現場より排除

しようしたことが理由だったのではないか。研修の実体が指導力向上を目的としたものではなく不当なものになっている。

こちらが出した録画データの要求には、指導主事の批判が誤認であることなど、視覚的情報での把握が必要である。そうしないと裁判所は判断できない。

被告から出された陳述書で研修内容や原告の研修実体が述べられている。校長の陳実書には校長が知っている原告の様子を書かれてある。」と述べました。

工藤会長からは「モンスターパーレンツの問題の解決には管理職の対応が決まる。前面に管理職が立ったところは解決している。校長は何をしたのでしようか。保護者対応を問われないうか。保護者対応ではないか。そこが大きな問題である。学校の先生を守るといふ思いが大事である。

研修が教員を指導するものになっていない。」と話しました。

Aさんは誰が担任しても大変と言われる学級を、「来年もこの学級でいたい」という声があがるような学級経営をしてきました。

ところがAさんは、校長の判断で「指導力不足教員」として申請され、週4日「指導改善研修」を受けています。この研修は職場復帰への道を開くのではなく、免職へ導く研修です。そのため指導力不足教員の申請・認定が不当であるとして東京地裁立川支部に校長・市教委・都教委・研修センターの対応を提訴しました。

裁判では被告の認定理由が曖昧だったり、事実誤認であったり指導力不足の理由にならないものばかりがだされています。

Aさんの原告現場復帰を望む声は同僚からもあがっています。子どもからも分かり易い授業との声もあります。

公正な裁判を望む署名も現在一万筆余り寄せられています。

これからも指導力不足教員の認定が不当なこと、この制度が問題であることを明らかにしていきます。Aさんの一日も早い職場復帰を勝ち取れることを目指します。

## 報告集会での支援者の意見

一部を紹介します。

○なぜ都教委は録画データの提出をかたくなに拒むのか。

↓推測だが録画データの編集作業に大変手間がかかる。録画データが表に出る前例を作りたくないからではないか  
(橋詰弁護士)

○裁判官には録画データをそのまま出して欲しい。

○本来であるならば保護者の苦情があったときの管理職の対応が大切である。校長に力がないのではないか。

○研修の实体は教育的指導ではなく懲罰的対応ではないか。何をやっても悪い点を明らかにしていくようなやり方である。

○苦情をもとに申請するのは一般的には通用しない。

○校長は苦情に対して原告にどう指導してきたか。保護者にどう対応してきたのだろうか。

○研修の中で指導主事らは指導しない。批判しかしない。それをもっと表に出していかれたらよいのでは。

○苦情を言っているのが特定の保護者にも関わらず全体の意見のようになっている。

など

温かなご意見感謝いたします。これからもよろしくお願ひします。



7月2日報告集会  
東京三弁護士会会議室

**署名千筆(累計六千筆)を裁判所に提出。現在約一万筆集まる!**

署名が九月現在で約一万筆になりました。七月二日に、裁判所に署名千筆(累計六千筆)、を第六次分として提出しました。この裁判を勝ち取るために、これからよろしくお願ひします。

**進行協議(東京地裁立川支部)がありました。**

七月二四日、五階会議室で進行協議がありました。裁判官、原告弁護士団、被告弁護士団で今後の進め方を協議しました。また、原告弁護士団は録画データの提出を要求しました。次回の進行協議は一〇月二日です。

※次回の口頭弁論の期日はまだ決まってません。  
※年会費及びカンパのご支援お願ひします。みなさんのご支援が必要です。協力をよろしくお願ひします。

事務局〒185-0034 国分寺光町 1-40-12

東京都教職員組合北多摩西教育会館内

『府中市小学校教員の職場復帰を勝ち取る会』

TEL :042-576-1161 Fax:042-575-0529